

(様式4)

事業所名 グループホームあぐり山本

目標達成計画

作成日： 令和 3年 1月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画立案の一部に本人、他職員、家族の意見などがあまり反映されていない場合がある為、担当職員や家族、チームでアセスメントやモニタリングを重視して作成できるようにする。意見収集をする。	介護計画、実施状況を職員個々が立案、確認(モニタリング)できるようにして作成時には現場の職員の意見、家族の意見を聞き、より本人に合った物を作成できるようにする。現場での計画実施や記録をきちんと残していく。	作成前の職員会議などで確認する。朝のミーティングに持ち込み、意見収集をする。家族などにも意見、意向の確認を十分にする。介護計画書に反映させていく。	3ヶ月
2	13	拘束などのリスク、感染について等の研修は実施しているが、介護実践(技術面)の研修はほとんどできていない。	利用者、職員の双方にやさしい介護技術、北欧式トランスファーなどを知る。介護の軽減を図る。	北欧式トランスファーの必要性を理解し、毎月の会議の後に少しずつ行っていく。	6ヶ月
3	35	防火管理者の異動などの理由でなかなか避難訓練が実施できていない。新型コロナウイルス感染症の発生を想定したシミュレーションの実施が必要である。	消防署、地域の方、運営推進委員会の方と一緒に災害時を想定して実施する。感染についてもシミュレーションをして備えておく。	一緒に話し合い、避難場所などを細かいところを確認しておく。非常持ち出しの確認。消防署に協力を得て、より実践に近い環境で行う。感染者が出た場合の初動を確認して対応できるように、備品の整理など行う。	3ヶ月
4	40	食事中、職員は利用者の食事の様子を観察しているが、会話は少なく一緒に食事を楽しむことができていない。	食事の時間を安全に楽しい時間とする。味を聞くなど会話をしてグループホームらしい家庭的な雰囲気を作る。	感染症対策を取りながら、食事中も一緒に過ごし、食事は摂れなくてもお茶を頂くなど意識をして行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。